

ホームレス支援 ライフ荘までの歩み

2008年12月30日、東京の日比谷公園に「派遣村」湯浅誠さん村長。甲府駅周辺にホームレス多数。同日、やまなしライフサポートによる第一回「炊き出し」。

活動目的:「路上生活者や生活困窮者の自立支援。地域における人的つながりを通して、何人も社会において孤立せず、健康で文化的な最低限度の生活を営むことのできる社会の実現に寄与する。」を掲げて歩み始めた。

2009年11月11日、カトリック甲府教会において設立会議。甲府市及びその周辺の橋の下や公園で生活しているホームレスの方に、炊き出しへのお誘い配布を決定。12月23日第一回夜間パトロールとして実施。この年、厚生省が目視による調査として発表したホームレスの数は全国で15,759人、山梨県内に50人。

2010年1月から毎週木曜日に「炊き出し、食事会」が実施され、新聞やテレビで報道された。その後やまなしライフサポートの主要な活動として定着し、毎回50人、多い時は60人の参加者があった。炊き出しのご馳走をお弁当にして周辺の橋の下や公園で暮らす人々に配布する活動も開始した。これによって、月1回の定例見守りパトロールが充実し、甲府市と周辺にある18の橋の下と10の公園で暮らすホームレスの方々との交流が深まった。

2011年10月特定非営利活動法人として認可され、11月に小瀬町の「山梨カトリック福祉センター」が新たな活動拠点となった。会議室、相談室、シャワー、台所、電気洗濯機と乾燥機も備わったので、ホームレスの方への支援の幅が広がった。「ふれあいサロン」として、お茶や軽食を楽しみながらゆったりと相談し、希望する方にはシャワーを利用してもらい、その合間に洗濯と乾燥を済ませることもできた。

NPO 法人やまなしライフサポート理事長 中山八十司

弁当配布やパトロールによる交流、ふれあいサロンでの相談を通してホームレスの方との信頼関係が深まり、生活保護や年金受給、協力企業への就労と大きな成果があった。

2012年5月2日、1歳半の幼児を連れた若い夫婦と祖父、78歳の4人家族が「ふれあいサロン」に来た。多重債務を抱え、取り立ての暴力団から逃れるために家を捨て路上に出たという。相談を聞き、食事を提供し、シャワーを使ってもらい、必要な衣類や毛布を渡すことはできたが窮地にある家族の助けにはならなかった。降り始めた雨の中を薄暗い橋の下に追い返すことしか出来なかった。無力感とその家族の後ろ姿は今も脳裏に残っている。

2012年から13年にかけて、県内外で派遣切りされた若いホームレスが急増した。住所とお金のない人達の就労支援を理解して下さる土建会社を甲府市内に見つけることができた。東北大震災の復興事業や福島除染作業で働く作業員を募集し、現地に送り出す人数が集まるまで滞在できる宿舎を用意してくれた。また、ライフサポートの関係者、K氏が国母に所有していた空き家と「ふれあいサロン」のサービスを合わせ、国母ハウスという一時宿泊施設とし、就職先の寮に引っ越すまでのシェルターとした。

2013年5月から社会福祉法人「ぶどうの里」のご協力により、ワンルーム型住居3室の確保と、「ぶどうの里共同生活援助事業所」からの朝食・夕食の配達が可能になり、完全なシェルターを装備したライフサポートの活動が開始された。これにより、路上生活で孤独と空腹に苦しんだ方が、安心して部屋と3度の食事を与えられ、希望する進路への相談ができるようになった。

2023 年度前半の主な活動実績

2023年4月～2023年9月 人数は延べ数

食料配布(炊出しに替えて)	1,209名(24回)	緊急一時宿泊(ライフ荘)	282泊(25名)
健康相談	1,212名(67回)	生活保護申請同行	7名(受給実績6名)
路上生活者面談	40名(39回)	就労相談	52名(就労実績9名)
生活保護・年金受給者面談	153名(92回)	見守りパトロール	77名(33回)

特集 ライフ荘10年

やまなしライフサポートが運営する緊急一時宿泊施設「ライフ荘」は、開設後10年を経過しました。開設経緯やこの間の利用者状況等を振り返り、住まいを失った方々に対してどのような支援を行ってきたかを紹介します。

1. 開設の経過

やまなしライフサポートが活動を始めた2008年、甲府市とその周辺市町村には30名近くの路上生活者がおり、リーマンショックにより失業者も増加したことを契機に炊出しを始めました。その後炊出しは定例化し、失業者への相談支援や路上生活者への弁当配達を通じて、緊急宿泊施設(シェルター)の必要性を実感し、古民家を利用した施設を経て、2013年にはホームレス自立支援法に基づく補助金を活用してライフ荘を開設しました。

2. ライフ荘の現状

当初3室でスタートしましたが、一時は県からの補助金が廃止され1室に減少した時期もありました。その後生活困窮者自立支援法に基づき甲府市、笛吹市、山梨市、都留市の委託事業となり、現在は3室体制で運営しています。

この緊急宿泊施設にとって重要な役割として、単なる宿泊場所以外に食事提供や見守りがあります。ライフ荘では社会福祉法人ぶどうの里に食事提供や見守りを依頼しています。

各室とも定員1名でトイレ、ユニットバス、炊事場、電子レンジ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン、TV、寝具一式等を完備しています。利用期間は原則2週間となっており、この間に利用者の状況に合わせて就労支援や生活保護申請支援、アパート探しの手伝いなどを行っています。



ライフ荘室内

3. 利用者状況

①利用者数

10年間の利用者数は390名(1年平均39名)です。部屋数が1室に減った2015年度は23名となりましたが、他の年度は40名前後で推移しています。

②利用者の属性

平均年齢は49.1歳で、最も若いのは利用者の子どもの5歳、最高齢は85歳でした。年代では40代が最多で101名(26%)、50代84名(22%)、60代74名(19%)と続きます。

性別では男性が87%を占めています。

③利用日数

平均利用日数は12.6日です。最短は1日で最長は71日でした。複数回利用された方が23名(6%)いました。

④利用後の進路

生活保護を受給した人が197名(50.5%)、就労した人が117名(30.0%)、その他は76名(19.5%)でした。

就労決定者の比率は2021年度が42%、2022年度が53%と高くなっています。これはコロナ禍で失業した派遣労働者など非正規雇用の方の就職が、当法人の協力事業主様との連携で決定したケースが多かったためです。

年度	利用者数	平均年齢	性別		利用日数	平均利用日数	利用後の進路			就労者の比率
			男	女			生活保護	就労	他	
2013年度	42	53.9	39	3	489	11.6	24	9	9	21.4%
2014年度	39	52.5	36	3	547	14.0	28	3	8	7.7%
2015年度	23	45.0	19	4	178	7.7	17	5	1	21.7%
2016年度	41	43.1	31	10	571	13.9	15	11	15	26.8%
2017年度	48	44.0	39	9	639	13.3	29	13	6	27.1%
2018年度	47	51.2	41	6	518	11.0	23	17	7	36.2%
2019年度	48	49.0	44	4	487	10.1	18	18	12	37.5%
2020年度	31	54.2	30	1	368	11.9	20	7	4	22.6%
2021年度	31	52.9	28	3	331	10.7	14	13	4	41.9%
2022年度	40	47.3	34	6	391	9.8	9	21	10	52.5%
合計	390		341	49	4,519		197	117	76	
平均/比率		49.1	87.4%	12.6%		11.6	50.5%	30.0%	19.5%	

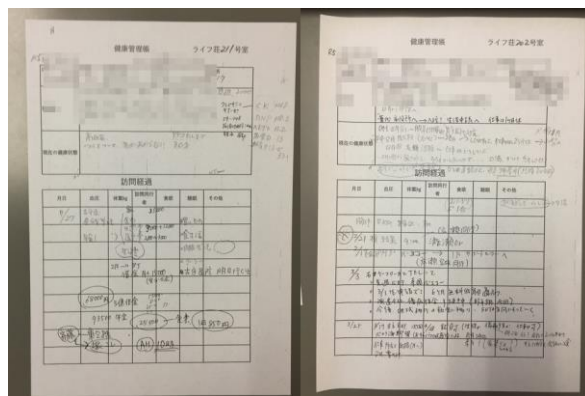
4. 利用者への配慮

①専任看護師の活動

利用開始時には健康チェック(血圧、脈拍、体温、呼吸、体重、意識状態等)を行います。必要に応じて、血糖値、血中酸素濃度の測定やコロナ抗原検査も行っています。問診で過去の病歴や受診歴、事故やケガ、健康診断の有無や時期等も聞かせていただきます。

測定値や問診結果が異常な場合は、直ちに病院受診につなげます。但し、ほとんどの方が保険証がなく受診費用も払えない状況なので、無料低額診療事業を行っている共立病院に同行しています。

或る40代男性は、失業してアパートを失ったので、寮付の就労を希望して入所しました。ところが健康チェックで、両下肢浮腫や眼球黄染などの異常がみつかりました。本人は自分の体調よりも就職活動を気にしていましたが、説得の結果病院受診し、肝臓障害が判明。即入院となり生活保護申請をしました。就職活動から方針転換できてとても良かったと思います。(看護師宮坂)



健康管理帳

②温かい食事の提供

食事は社会福祉法人ぶどうの里の厨房で調理し、利用者の部屋まで運んでいただいています。カロリーや栄養バランスに配慮した温かい食事を朝、夕提供しています。事前に利用者の塩分摂取制限や食物アレルギーの有無を確認しています。昼食はカップ麺をお渡ししています。



献立の例 →

5. 利用者の事例

Tさん(40代 男性)

私は凍傷で両足の指10本を失いました。

職場の人間関係に悩み、冬の富士山麓の樹海で自殺を図りました。3日後に通行者に発見され緊急入院し一命をとりとめました。凍傷が悪化し切断手術を受けることになりました。

3カ月後に退院を迎えましたが親族には頼ることができず退院先が決まりません。病院の医療相談員の配慮で甲府市役所とやまなしライフサポートに相談し、ライフ荘に入ることになりました。創部の痛みを抱え、今後の生活への不安でいっぱいだった時に、まずは当面の生活ができる場所を与えてもらったのはとても助かりました。

ライフ荘ではライフサポートの看護師さんが頻りに訪問してくださり、創部の確認や次回通院に向けての助言などをいただきました。また、相談員の方は生活保護申請やアパート探しの支援をしてくださりました。

ライフ荘に20日間お世話になった後アパートに引っ越ししました。その際ライフサポートから冷蔵庫、洗濯機、布団、電子レンジ、テーブルなどの生活必需品を提供してもらいました。何もなかったスタートだったのでとても助かりました。

アパートに移ってから頻りに訪問してくださり、今後の相談に応じていただきました。障害年金や障害者手帳の申請、高額療養費の精算、傷病手当金の手続きなど自分一人ではなかなかできないことを手伝ってもらえたのでとても助かりました。

今後は歩行訓練を行い、働いて生活自立を取り戻せるよう頑張っていきたいと思っています。(本人談)

Oさん(50代男性)

＜2度目のライフ荘利用を経て＞

2年半前にライフ荘を利用し、ライフサポートの就労支援を受け県外の建設関連会社に就労したOさんが、今年9月の夕刻に突然ライフ荘を訪ねて来ました。

食事の提供や生活のお世話を委託している社会福祉法人の担当者が対応し、事情を確認しました。勤務していた会社の複雑な人間関係に嫌気がさし急遽退職したが、住まいも所持金も無いため、もう一度ライフ荘を利用したいとの事でした。

ご対応頂いた方は、当法人の活動目的を十分に理解されており、「市役所の福祉課に相談するように」との適切なアドバイスをした事が今回の2度目の利用と就労支援に結び付きました。早速、翌日には市役所からライフ荘利用申込と就労支援の要請がありました。

本人は建物解体業の経験が長かったことから、県内の建設解体会社と連携した結果採用が決定し、2週間後に就労する事となりました。建設解体会社社長さんには、生活困窮者の就労について常日頃からご理解をいただいております。今回も自ら入居アパート探しや入居費用の立替え等にご尽力いただきました。

ライフ荘からの引越日には、社長さんと当法人職員が同行の上、多くの皆様からご寄付頂きました家電品や寝具等の生活用品を提供し、Oさんからは、「頑張ります」との元気な言葉をいただきました。

炊出しを再開

コロナ禍のため中止していた炊出しを2023年7月から再開しました。炊出しの代わりに2020年5月から、毎週1回食料配布を行ってきました。利用者さんにご意見を伺ったところ、食料配布のニーズも高いことが判明したため、毎月第1木曜日に炊出しを、その他の木曜日には食料配布を行うことにしました。

メニューは以前の炊出しの頃に人気のあったカレーを定番とし、季節の野菜をふんだんに使った具だくさん味噌汁を添えています。食器は認定NPO法人スペースふう様のご協力により、環境に優しいリユース食器を使用しています。



調理風景



食事会場

ボランティアさん募集

炊出しの調理ボランティアを募集しています。毎月第1木曜日、14時から17時。都合のつく一部時間帯でも結構です。マスク、三角巾、エプロンをご用意いただき、13時50分にご集合をお願いします。

住所: 甲府市中央2丁目7-10 甲府カトリック教会(駐車場あり)

物品のご寄付を募っています

家を失った方が新たにアパートでの生活を始めるにあたり、様々な生活用品が必要になります。多くのご寄付をいただいておりますが、現在右記の物品が特に必要です。ご連絡いただきましたら当方より受け取りに伺いますのでよろしくお願い致します。(家電製品は製造後10年以内の物をお願いします)

小型冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、
小型テレビ、電気炊飯器、コタツ、
電気ポット、自転車、カーテン、布団

寄付金も募っています

貴い寄付金が食料や衣類となって困窮されている人を支えます。

お振込みの前に、電話かメールでその旨お伝えいただけると幸いです。

振込先

山梨中央銀行 南支店 普通預金 865629

名義人 特定非営利活動法人やまなしライフサポート 理事 中山八十司

(トクヒ・ヤマナシライフサポート)

会員募集中です

やまなしライフサポートの活動を資金面で支えてくださる方を募集しています。

正会員(当団体を支援し活動に参加して下さる方。総会での議決権あり)	年会費 個人 5,000 円 団体 10,000 円
賛助会員(当団体の活動を応援して下さる方)	年会費 個人 3,000 円 団体 5,000 円

入会申込書は、やまなしライフサポートのホームページ(<http://yls.or.jp/>)からダウンロードすることができます。